

## 第2部 ワークショップ

参加する学生の方は、  
名札に記載してある番号の  
テーブルについてください。

# 趣旨説明

- 1つの事例について話し合ってもらいます。  
事例①⇒ A, B, C 事例②⇒ D, E, F

若者が抱える不安や悩みに対して、身近な人として  
行える取り組み・アイデアについて考えてください。

お互いに自分の意見を自由に話し合ってみてください。



## 始める前に

- 各グループに司会進行と書記として大正大学の学生が2名ずつ入ります。
- ディスカッションの時間は、約40分です。その後、グループ毎に話し合った内容を発表してもらいます。
- 席についたら、簡単に自己紹介。呼ばれたいニックネームでも構いません。
- 発表者を決めてください。



# 事例1

## (状況)

- まいこさん、大学1年生、19歳の女性で性格は勉強熱心で真面目。
- 東北地方から上京し、現在一人暮らし。
- 家族は50代の両親、自分を含め3人で、母は学業に厳しく、父は自分に対してあまり関心がない。
- 小中高と成績は優秀。大学でも資格を取り、目指す職業に就くため、休むことなく授業に参加し、良い成績をキープしている。
- 大学に入学してから悩みを相談できる友達が2人ほどできた。
- 上京してから飲食店でのアルバイトを始め、現在週4回働いている。
- 家にいる時間が少なく、食事もアルバイト先のまかないを食べることが多くなってきている。
- サークルでは、活動の調整や部員との連絡などの役割を担っている。
- 最近、忙しさから成績が思わしくなくなり、資格取得に必要な単位を2つ落としてしまった。
- 単位を落としたショックから最近授業に身が入らない。



# 事例1 つづき

(自分が感じている状態)

- やることが多いため疲れが取れず、よく眠れない。
- 朝起きるのが辛く、体がだるい。
- 単位を落としたことからショックを受け、将来が不安になった。
- 友達に相談はするが、これといった解決策が見つからない。
- 親に成績のことを伝えていない。



## 話し合う内容

- 事例1の状況等を見て、どう思いましたか。
- 事例の当事者と身近な関係（友人、家族等）にある場合に、何ができるかアイデアを出し合ってください。
- 大学等で行える取り組みやアイデアについて出し合ってください。



## 事例2

### (状況)

- けんたさん、大学4年生、22歳の男性で性格はマイペース。学業の成績はあまり良くはないが本人は気にしていない。
- 家族は60代の両親と中学生の妹が1人と自分を含め実家に4人暮らし。母と妹とは、仲が良いが、父とはあまり話さない。
- 友達が多いが、本音を明かせる友達はいないと思っている。
- サークルに所属はしているが、あまり参加していない。
- アルバイトは、長期休暇のときだけしている。
- 大学は、卒業論文と就職活動の時期になっている。
- 友達は就職が決まり始めているが、自分は内定も出ていない。
- 特に将来やりたいことがあるわけではない。
- そんな中、母親が治療困難な病気になり、長期的な入院が必要になってしまった。



## 事例2 つづき

(自分が感じている状態)

- 将来に漠然とした不安がある。
- 友達の就職が決まった話を聞くと、焦ったり、不安になったりする。
- 就職が決まらず気持ちが不安定で、卒業論文も進んでいない。
- 母親が病気になり、自分のことだけではなく、家族のことも考えなくてはいけなくなった。
- 相談できる相手もない。
- 何をどうすればいいのかわからない。





## 話し合う内容

- 事例1の状況等を見て、どう思いましたか。
- 事例の当事者と身近な関係（友人、家族等）にある場合に、何ができるかアイデアを出し合ってください。
- 大学等で行える取り組みやアイデアについて出し合ってください。

